

歌壇

唐津麻 貴子選

山鳩は早起きである。一と一と寂しき鳴き声にこぼす

田辺 寒川 清

【評】山鳩はまだ明けきらぬ内から鳴き出す。それを聴く時の心境により様々な思いに受け止めるもの。この歌では寂しく聞こえたり。この歌を読まれた方々はどのように聞こえるか、一度想像の耳で聞いてみて下さい。

である。

古里は遠くになりぬ夏の日の青きトマトの匂い懐かし

和歌山 川端 眞由美 鴨三羽睦みて遊ぶ川青くし

【評】山鳩はまだ明けきらぬ内から鳴き出す。それを聴く時の心境により様々な思いに受け止めるもの。この歌では寂しく聞こえたり。この歌を読まれた方々はどのように聞こえるか、一度想像の耳で聞いてみて下さい。

しんぼう文芸

俳壇

須田 光成選

夫の遺書かむと硯洗ひけり

和歌山 加藤 かずえ 【評】亡くなられた御主人の俳句をなんとか末永く記念に残しておこう

も時が経つと力も抜け、風化されて行く姿がピツタリと「夏の果」の季語に合ってます。

立つ百合の影を寝かせて居る夕よ

田辺 寒川 清 古民家の今日のサロンは木下閣

岩出 梶本 洋子 いつしかに水平線の稲田かな

和歌山 野上 悦司 七夕や忘れし夫の誕生日

和歌山 河田 玲子 神酒に酔ひ佳き音と成りし祭り笛

和歌山 太田 妙子 退院を寿ぐやうに蟬しぐれ

和歌山 露口 純子

柳壇 川上 大輪選

Gパンが星明かりだけ食って居る 田辺 寒川 清 人生の卒業式を知りたいね 紀の川 森見 昌男 女坂越えて来ました夢現 和歌山 上田 紀子 余生なお消えぬマグマが背を押す 和歌山 堀 富美子 カロリーを控え愛情盛っておく 和歌山 松原 寿子 黒い雨降った八月忘れまじ 海南 川端 章子

わかやま新報は、読者の皆さんの俳句を募集します。投稿は、はがきに作品と俳句・川柳・短歌のいずれであるか明記し、住所、氏名、年齢、職業を書いて、〒640-0804、和歌山市福町49番、和歌山中橋ビル4階、わかやま新報編集部へ。

塗装の技術者育成へ

和工でマイスターが伝授



は毎年マイスターによる授業を実施。2級技能検定の課題をベースに、ペニヤ板に図を描き、塗って

仕上げの作業を2回にわたり行った。この日は前回の続きで指定された色の調査から始めた。5色の塗料を少しずつ混ぜ、見本の色に近づけていく。生徒はベースに、ペニヤ板容器に塗料を取り、白や黒の塗料を垂ら

して色の明暗を調整していた。その後、図を鉛筆で下書き。定規とコンパスを使い、板の上にするし

1にはけの使い方を教わり、線に沿って丁寧に色を塗っていた。

城田夏生さん(18)は「思っていた以上に難しかった。若い人が少ないので、興味を持ってもらえたら」と話していた。

外国人への日本語支援

にほんごおしゃべり会が活動

外国人も日本人も友達に。多文化オアシス文化オアシス

で欠かせない日本語を使い、「おしゃべり」で文化や生活などを伝えている。

象に学校での勉強補助をする。その他、日本での生活相談や

役所窓口同行、教育機関との連携による会や懇親会、日帰り旅行などの企画を通して交流を深めている。

同会の副代表で近畿大学生物理工学部 教養・基礎教育部

和歌山

県立和歌山工業高校(和歌山市西浜)

づくりマイスターによる木工塗装実習が行われた。産業デザイン科の3年生10人が参加し、日本塗装工業会県支部(栗原佳宏支部長)から技術を学んだ。

はけの使い方を習いながら作業する生徒。タナーは技能検定1級、実務経験15年以上の技能者のうち、厚生労働省が認定している指導者で、熟練した技能者が減少する中で若手を育成しようと企業や学校で体験学習や指導を行っている。同校で

外国人も日本人も友達に。多文化オアシス文化オアシス

で欠かせない日本語を使い、「おしゃべり」で文化や生活などを伝えている。

象に学校での勉強補助をする。その他、日本での生活相談や

役所窓口同行、教育機関との連携による会や懇親会、日帰り旅行などの企画を通して交流を深めている。

同会の副代表で近畿大学生物理工学部 教養・基礎教育部

週間アストロジー

9月6日~12日

かざねのあ

牡羊座 (3/21~4/19) 牡牛座 (4/20~5/20) 双子座 (5/21~6/21) 蟹座 (6/22~7/22)

誤解から交友関係にヒビが入りそう、言葉の選択は慎重に。向上心はあるのに理屈ばかりで何も行動に移せない。逆転のチャンス到来。決断力がポイントになりそう。思

期待に満ちた週になりそう。豊かなアイデアが評価され、大きな目標が

の人が集まり、料理の会や懇親会、日帰り旅行などの企画を通して交流を深めている。